

# インボイス導入 延期を求める請願 不採択！

またもや 中小零細業者の声は、国に届かず！

令和4年度12月議会が11月25日～12月13日まで開催されました。日本共産党市議団の一般質問と請願審査の概要を紹介します。

12月13日最終日、胆江地区消費税廃止各界連絡会（亀梨恒男会長）が提出した「消費税インボイス制度の導入延期を求める意見書採択についての請願」の審査が行われました。

9月議会では「導入の中止を求める請願」が否決されています。今回は日本商工会議所が求めている「導入延期」と歩調を合わせた内容になっていますが、再び否決されました。

中小零細事業者の声は、再び届けることはできませんでした。

日本共産党市議団と3人（奥州みらい）の8人の賛成のみで不採択となりました。

野裕文議員も「インボイスの準備ができていない中小業者が多く、税理士や税務署等の税務にかかわる現場でも混乱をきたすとして、延期を求めることは当然のことと思う」として賛成討論しました。

## 過剰債務に苦しむ事業者への 支援策を講じるべき

千葉敦議員は、長引くコロナ禍、物価・原材料の高騰の中、「コロナ対応融資（実質無利子・無担保のいわゆる『ゼロゼロ融資』）」などで過剰債務となり、融資返済に苦慮している事業者があると見て、事業が続けられるよう支援するべきだとし、倉成市長の見解を質しました。

倉成淳市長は「一部事業者では、すでに返済が始まっている。企業振興課内にある新型コロナ相談窓口において、各種相談に対応するとともに、各事業者の個別の相談に対応できるように関係機関・金融機関と連携を進めると述べました。

**新たな資金調達制度の創設を求める**

千葉敦議員は、地域経済回復が見えない中、日本政策金融公庫や県の「ゼロゼロ融資」を当面「別枠融資」とし、新たな資金調達ができるようにすることが必要でないと主張しました。

**国が借り換え制度を検討している**

倉成淳市長は「政府では、返済が本格化する前に、融資の保証のため企業が信用保証協会に支払う保証料を低く抑え、期間の長い融資への借り換えを促す制度の創設を進めている」と述べるにとどまりました。

## 感染した高齢者は 入院できるようにすべき！

1月16日

新型コロナウイルス感染拡大で緊急申し入れ

1月16日、日本共産党市議団は倉成淳市長に対して、「新型コロナウイルス感染対策の急拡大から市民の命とくらしを守るための緊急申し入れ」を行いました。

昨年末以来、高齢者施設などで新型コロナウイルス感染症に感染した入居者が、病院に入院できず施設内で亡くなったたり、病院でクラスターが発生して医療機関がひっ迫していると伝えられています。議員団はその実態を

明らかにし、感染した高齢者が入院できるようにすること、高齢者施設や医療機関への支援、そして、事業者へは、持続化給付金・地域企業経営支援金の再実施を国や県に求めるよう8項目を申し入れました。

担当者

は、施設内で感染した高齢者については、高齢者施設の系列の病院や嘱託医のところで入院できるよう保健所が進めていることなどを明らかにしました。



## 東バイパスの横断歩道廃止は止めよ!!

撤去の方針は  
却下になった

瀨川貞清議員は、水沢東バイパスにかかる信号機のない横断歩道の撤去方針について質しました。（9月の決算審査特別委員会でも倉成市長は答弁を回避していたものです。）

これに対し、市長は「令和4年7月20日に開催された奥州警察署交通規制対策協議会で、「市道慶徳杉ノ堂線との交差点部」及び「市道大町杉ノ堂線との交差点部」の2カ所の横断歩道について、廃止を却下する答申がありました。なお、その答申には「水沢東バイパス完全共用に合わせて再検討」との付帯意見がついていることを明らかにしました。

## 孤独死対策の充実を！

瀨川貞清議員は、老人一人世帯で亡くなつてから数日後に発見されるということがあったことから、「孤独死」防止対策の「高齢者生活サポーター事業（緊急通報装置の貸与事業）」の拡充を求め質問しました。

緊急通報装置の  
貸与拡充に努める

倉成淳市長は、疾病等の原因で体調の急変等が心配な高齢者等が、緊急時に安心センターにつながる通報機器を設置する事業（令和4年10月末現在99世帯設置）で、事業の拡充については、市のホームページで事業等の情報提供を行い、市民への周知を行う」と述べました。

また、市では今年度から奥州市小さな拠点づくりモデル事業「高齢者見守りサービス事業」に取りくむなど、地域による高齢者見守り体制を構築する事業を進めている。地域住民や民間協力事業者と連携し、福祉コミュニティづくりを進めるとの考えを示しました。

日本共産党奥州市議団



佐藤美雪議員 瀨川貞清議員 千葉敦議員 菅原明議員 今野裕文議員

市政報告

2022年1月2月号  
奥州市議会日本共産党議員  
《連絡先》  
奥州市役所日本共産党議員団控室  
水沢大手町1-1 ☎24-2111  
日本共産党奥州市委員会  
水沢字久田62 ☎24-2021 fax24-2049